

計画の名称	阪南市における安全で快適な公園・緑地づくり											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）									重点配分対象の該当		
交付対象	阪南市											
計画の目標	○ 阪南市においては、開設後20年以上経過する公園が全体の半数を占めており、公園遊具施設等も一斉に老朽化を迎え、安全・安心のためにも対応を迫られることになる。 このことから阪南市では、公園施設長寿命化計画を策定することにより、効率的・効果的な公園施設の改築・更新を進め、安全で快適な公園・緑地づくりを推進する。											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	100百万円	A	95百万円	B	0百万円	C	5百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	5.0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	公園施設の改築・更新を実施し、安全性・快適性が向上した公園の割合：0%（平成27年度）→100%（平成31年度末）			
	公園施設の改築・更新を実施した公園の数 / 公園施設の改築・更新が必要な公園の数	0%	50%	100%
2	阪南市公園施設長寿命化に基づいて管理されている都市公園数の割合を0%（H27当初）から100%（H31末）にする。			
	長寿命化計画を策定した都市公園数 / 全都市公園数	0%	50%	100%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

本市都市整備部道路公園課内で実施

事後評価の実施時期

令和3年11月

公表の方法

本市のホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する

交付対象事業の効果の発現状況

計画どおりに長寿命化計画は策定できた。

施設の更新は計画目標の50%しか実施できなかったが、公園利用者への安全と安心の向上はなされた。

定量的指標以外の交付対象事業の

効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値/実績値	目的地と実績値に差が出た要因
1	改築等整備を実施した公園遊戯施設数 / 改築等整備が必要な公園遊戯施設数	
	最終 目標値	100%
	最終 実績値	50%
整備計画作成時（平成27年度に長寿命化策定、平成28年度～平成31年度に施設更新）には、最終目標を平成31年度としていたが、市の財政状況が逼迫し、平成30年度及び平成31年度の市の予算が確保できなかったことにより、施設の更新事業実施期間4年間のうち2年間しかできなかった。		
2	阪南市公園施設長寿命化に基づいて管理されている都市公園数の割合を0%（H27当初）から100%（H31末）にする。	
	最終 目標値	100%
	最終 実績値	100%

参考図面（社会資本整備総合交付金）

